

## 吉備中央町地域防災計画・国民保護計画の修正案に対する一般意見等募集結果

吉備中央町地域防災計画及び吉備中央町国民保護計画の修正案について、ご意見を募集したところ、次のとおり 33 件の意見が寄せられました。

これらの意見等に対する町の考え方を記載しておりますのでご覧ください。

貴重なご意見をありがとうございました。

自治会名	意見 ※原文のとおり記載	意見に対する町の考え方
清水	周囲に川があるので下竹公民館は恐いです。	ご指摘のとおり、下竹荘公民館の周囲には、2つの河川の合流地点があり、また南側には急傾斜地の山があるため、風水害においては、避難所として使用できないことも想定されます。災害発生時には、避難所を一律にして開設することなく、災害の種別に応じては、下竹荘公民館を避難所として利用せず、最寄りの避難所への指示も行えるよう運用していくよう努めてまいります。
則安	豊野神社を避難場所としてはどうか。 避難場所を則安公会堂としてはどうか。 豊野公民館、小学校は避難所としてはどうかと思う。	ご指摘のとおり、町内には指定している避難所以外にも多数の人を収容できる集会施設等があります。また、地域においては、一定期間生活に困らない程度の設備の整った施設がある地域もあると考えます。 町の指定する避難所については、原則、町の所有する公共施設とすることとしており、ご意見にある地域の施設について自主避難所として活用いただきたいと考えています。 併せて地域の集会施設については、その設備等を設置するための補助金等を活用し避難所としての機能も強化していただきたいと考えていることから、いただいたご意見を参考に、災害発生初期においては、集会施設等を活用した避難所の運営を想定し、町と自治会等とで密に連携することを検討します。
小森	小森地域では土砂災害警戒区域（急傾地域）で災害時避難行動が大変危険です。 小森・高富で組織しています、みんなで支え合う地域づくり協議会（防災部）で各班に防災協力員を設け、高齢者避難開始が発令されたら情報伝達や避難活動の協力をするように連絡網を整えて早く指定避難所に避難するように心がけています。 小森地内の指定緊急避難場所ラーバニスト小森の里について現在は使用されてなく河川付近で危険なため、近くのやすらぎの里（小森診療所あと）のほうが安全で、みなで支え合う地域協議会ではやすらぎの里を良く一時的避難所として使用しています。	貴地域では、毎年内容の濃い防災訓練等を実施されていると認識しています。ご意見にありますとおり、災害の種別によっては、避難所へ行く途中に危険箇所がある地域が貴地域以外にも町内には多数あります。 いただいたご意見を参考に、町の指定する避難所の地域にある集会施設等を活用した避難所の運営を想定し、町と自治会等とで密に連携することを検討します。
長田	・防災体制について 消防体制について、簡易なものについては各分団で判断し、早急に活動ができるようにしていきたい。（急な家への浸水等） ・長田ふれあいセンター 裏に、土石流危険渓流旭川水系加場の原谷川がありますが、現在、谷川が埋まっております、土砂浚渫をしていただきたい。 ・井原コミュニティセンター 1級河川豊岡川に面しており、大雨時の恩木ダム放流等により増水し、敷地内に水が流れ込み、移動困難になるので避難所としては適切ではない。	平成 30 年に起きた西日本豪雨災害時に災害対策本部と地元消防団との連携に時間を要したため、一刻を争う事態に対応しきれなかったことが要因となっていると考えます。ご意見のとおり、簡易なものについては地元分団での対応が良いと考えますが、「簡易なもの」をどの程度からとするかの線引きを明確にすることを消防団内部で検討し、災害によっては、地元分団により、住民の要望に柔軟に対応できる体制を構築します。 長田ふれあいセンターのご意見については、河川を担当する県民局へ引き続き要望していくこととしています。 井原コミュニティセンターについては、ご指摘のとおり、周囲には2つの河川の合

吉備中央町地域防災計画・国民保護計画の修正案に対する一般意見等募集結果

自治会名	意見 ※原文のとおり記載	意見に対する町の考え方
		<p>流地点があり、過去においても度々増水による床下浸水等が発生している地域です。風水害発生時には、避難所を一律にして開設することなく、災害の種別に応じては、最寄りの避難所への避難勧告等も行えるよう運用していくよう努めてまいります。</p>
<p>広面本村</p>	<p>防災について地区ごとに町指名の責任者を選出し、毎年何回か訓練をする事。現在指定されている避難場所へ災害時に安全に行けるかどうか一度検証することも必要です。</p>	<p>町指名の責任者については、町では令和元年度から防災士の資格を取得することを希望する方に対して、その費用についての全額を町が負担することとし、毎年度予算措置をしていくこととしています。令和元年度においてはこの制度を利用して4名の方が防災士の資格を取得し、今後の活躍を期待されているところです。ご意見のとおり、町でも地域の防災のリーダーを引き続き育成することとし、制度の周知に努めてまいります。</p>
<p>平岡</p>	<p>今後50年に1度の降雨が毎年来ると言われているが、当該地区に大きな河川はなく各戸土砂による災害は考えにくい。 仮に避難するにしても指定された公民館までは徒歩30分を要し、暗くなれば街灯及び防犯灯はないため高齢者には無理がある。まして収容人員30名では直ぐに一杯になり地区外の人員は受け入れてもらえないかもという不安もある。家にいたほうが安心であるという結論でした。</p>	<p>地域の方同士で災害に対する備えについて話し合っておくことは大変有意義なことです。ご意見にあるとおり、町の指定する避難所まで徒歩の移動が困難な地域は、複数あると考えており、日頃から地域住民同士で災害について話し合いながら災害の起きたときのことを想定して自宅に必要な物品を備蓄する等準備も大切なことです。 また、収容人数の少ない集会施設しかない地域については、早めの行動を特に促し、町内一律に避難情報を発令するのではなく、地域に応じて情報を伝達することのできる体制を構築することとします。</p>
<p>持信</p>	<p>先年の大雨で豊野公民館に避難し安心していた所、増水により総合会館に移動、事なきを得ましたが、今までも、増水時には使えないと言われながらなぜ変更、改善がなされないのか？早急な改善を願うものです。</p>	<p>平成30年の西日本豪雨時には、近隣の河川の氾濫が想定される事態となり、豊野公民館から別の避難所へ移動することとなりました。同館は浸水想定区域外に位置しておりますが、河川に近いということもあり水害時の避難所として適していないと考えられますので、災害の種別や状況、地域の特性に応じた避難情報を発令していくこととします。 また、水害においては、状況により遠方の避難所へ避難することも想定されることを地域の方一人ひとりが認識し、早い段階での避難を心がけていただけるよう町といたしましても周知徹底に努めてまいります。</p>
<p>日名</p>	<p>現状で良いと思います。</p>	<p>本計画を災害時に活かせるよう今後も必要な見直しと周知に努めてまいります。</p>

吉備中央町地域防災計画・国民保護計画の修正案に対する一般意見等募集結果

自治会名	意見 ※原文のとおり記載	意見に対する町の考え方
西	<p>下竹荘公民館は川が集まっているため、増水した場合が心配になります。行く道も大きな土砂崩れがあったことも心配になります。以前から道端に大きな石が落ちていたことも心配します。老人には設備の整っている加賀中学校が良いと思います。避難できる時間は昼間が良いと思うので早めに行動したいと思っています。</p>	<p>避難者の適正に応じて、高齢者等には早めに行動していただく必要があると考えています。そのため、災害の種別に応じて環境の整った施設等を早い段階で開設し、避難情報についても分かりやすい伝達方法により対応していくよう努めてまいります。</p>
下田土	<p>2018年7月に起きた「下田土地区土石流災害」を受け、2019年6月に下竹荘地区各自治会の代表者を対象とした「地域の防災を考える会」を行った。当時の災害や避難の状況を振り返り、今後の防災のあり方を協議した。この協議内容を持ち帰った上で、下田土自治会としての意見は次のようである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、 下竹荘公民館は、川の近くでもあり危険であるが、第一次避難場所としては仕方がない（まあ適当である）。二次的な避難が必要である場合は、移動中の被災も十分考えられるため、近くの下竹荘小学校、加賀中学校への避難が適当である。2018年の避難の時、第二次避難として吉川公民館に行ったが、避難途中が大変怖かった（土砂の流出、川の増水など）。避難時の第二次被災が無くてよかった。</li> <li>2、 各個人では、「自分のところは安全である」といった『安全バイアス』が働くため、下田土地区みんなで連絡を取り合い、早めに自治会長の指示で避難をする。地域の者同士の連絡が重要である。</li> </ol>	<p>下竹荘公民館は河川の近くに位置し、雨量増加に伴い、河川が氾濫する危険性があります。平成30年の7月豪雨時のように、二次避難が必要となった場合、下竹荘小学校及び加賀中学校への避難が適当とのことですが、下竹荘小学校及び加賀中学校は土砂災害警戒区域付近に位置していることから、土砂災害の危険性があります。その他の避難所へ移動する場合、避難所までの経路についても土砂災害警戒区域に指定されている箇所が多数存在することから、早期の避難を呼びかけるとともに、状況に応じて最寄りの避難所以外の避難所への避難誘導を視野に入れ、今後検討していきたいと考えます。また、危険な箇所が多い地域であることを住民の一人ひとりが認識し、切迫した状況下での避難は被災する恐れがあることを意識して早い段階での行動を心がけていただけるよう周知徹底に努めます。</p> <p>地区内での連絡体制の構築についてですが、地域の方同士で避難を促し、協力して危険を回避する共助の強化に繋がることを期待し、町といたしましても必要に応じて可能な限りのサポートに努めてまいります。</p>
下加茂	<p>私ども下加茂自治会では、一昨年の「西日本豪雨災害」をきっかけとして、「防災についての勉強会」に、昨年から3年計画で取り組むことに致しました。</p> <p>第1回目の昨年は、備前県民局にお願いして、防災についての「出前講座」をしてもらいました。防災についての全般的な知識を学び、特に防災DVDを視聴することで、その臨場感にふれ「防災意識」を目覚めさせるには効果のある勉強会であったと思っています。</p> <p>今年、そして2回目、3回目は、地元、吉備中央町にお願いして、この地域と直結した防災についての勉強会を予定、期待しています。町の防災担当部署である、総務課担当者には、4月以降、改めてお伺いしてお願いしようと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>防災については、まず「防災知識」を身に着け、「自分の命は自分で守る」という「防災意識の向上」をめざし、「みんなの地域はみんなで守る」という自治組織による「みんなの防災」へと繋げることができればよいな、と思っています。どこまで行けるかは疑問がありますが。</p> <p>防災知識としては、自問自答から生まれる具体的事象、例えば、この地域はどんな災害を受ける可能性があるのか、自分の家の裏山には土砂災害の危険性がどの程度あるのか、過去に土砂災害が発生したことはないのか、身の危険を感じた時、何処の避難場所へ避難すればよいか、避難場所へ移動する手段はどうするか何を基準</p>	<p>貴自治会の皆様におかれましては、一昨年の西日本豪雨を契機に、防災についての勉強会や講座を自治会で開催し、防災意識の向上を図ることで自助・共助の強化に尽力されていることは認識しているところです。今後とも防災についての勉強会や訓練に対し、町といたしましても可能な限り情報の提供や、自治会の避難訓練等のバックアップに努めてまいります。</p>

吉備中央町地域防災計画・国民保護計画の修正案に対する一般意見等募集結果

自治会名	意見 ※原文のとおり記載	意見に対する町の考え方
	<p>にして避難行動を起こせばよいか、等々。                  みんなの防災としては、避難行動に際して、隣近所の体の不自由な方はいないか、一人暮らしの人はいないか、その支援はどうするのか、等々。                  勉強会参加者には、比較的高齢者が多く、できるだけ防災 DVD などを使って視聴覚に訴える方法が効果的であるようにも感じています。                  勉強期間内のどこかで、避難訓練は是非とも実行したいと思っています。                  避難場所については、残念ながら、小生、避難体験をした経験がないので、想像のみで、実感が湧いてきません。今夏、台風襲来時など、開設されている避難場所へ避難体験をしてみる必要があるかな、とも思っています。 以上</p>	
大谷	<p>高谷自治区においては、自治会館を避難場所として区民に周知するが各班において遠方及び土砂災害の危険の為、各班の集会場に一時的に避難する。                  長期の場合、食料、寝具等どうするのか？検討。</p>	<p>避難場所まで移動する危険性を考えると、自治会等で指定した地域の集会所へ一時避難することも必要だと考えられます。避難が長期化した場合の食料や寝具等の懸念については、状況が落ちつき次第、自治会等で指定した地域の集会所から長期の避難が可能な町指定避難所へ移動するなど、自治会内協議していただきたいと考えます。                  また、町の補助金で防災資機材等の整備を行うことも可能ですので、活用していただき避難所としての機能の充実強化を検討していただきたいと考えます。</p>
日の上二区	<p>日の上二区自治会は、平成 29 年度に吉備中央町自主防災組織補助事業を活用し、「日の上二区自治会自主防災会」を設立している。                  活動拠点の所在地を、日の上・長坂コミュニティハウスに置き、防災用資機材を整備するとともに、自主防災会一時避難場所として自治会員に周知している。                  平成 30 年の西日本豪雨では防災本部を設置し、コミュニティハウスを一時避難場所として対応を行った経緯がある。                  吉川公民館の対策室に出向き自主防災本部の設置を告げ、情報の共有を促したが十分な情報は得られず、課題として町・指定避難場所等との情報網が確立されていないことが残っている。                  今後は、町・指定避難場所等と一時避難場所との連携強化が必要であると考えられる。                  また、防災委員より下記 3 点の意見が寄せられているので、検討をお願い致します。                  防災委員：山本</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、 各指定避難場所の施設について、高齢者等要支援対応できる資機材の明示や犬や猫等のペット対応が可能かどうかを事前に分かるようにしておいてもらいたい。</li> <li>2、 各自治会に対し、事前に何処の指定避難場所に高齢者等要支援者が何名行く可能性があるか、また、最大何世帯（人数も）が行くことになるかを把握しておく必要があると思われる。</li> </ol>	<p>貴自治会におかれましては、いち早く自主防災組織を組織し、活発な防災活動を展開されている地域として認識しているところです。                  町指定避難場所等と自主防災組織との連絡体制の構築は大きな課題です。町としては自主防災組織補助金や防災士育成事業等で自主防災組織の育成強化及び活動活性化を支援し、機能的な自主防災組織の増加を促すとともに自主防災組織との連絡体制の構築に努めてまいります。                  また、防災委員の方の意見については、避難所運営の参考とさせていただき、高齢者等要支援者の把握に努め、高齢者等要支援者台帳の整備を進めてまいります。</p>

吉備中央町地域防災計画・国民保護計画の修正案に対する一般意見等募集結果

自治会名	意見 ※原文のとおり記載	意見に対する町の考え方
	3、 こちらの一時避難場所としては、自治会のコミュニティハウスとしているが、その場所と指定避難場所と連絡が取れるように緊急連絡表を作成しておく方が良いと思われる。	
長坂二区	吉備高原小学校のクラブハウスが公民館となることにより、より向上していくことを願います。	新たな公民館についても、災害対応についての機能を図りながら、避難所の指定を検討していきます。
上加茂	<p>昨年、避難勧告の時、津賀地区は下加茂の農村環境センターのみだったが、ぜひ近くの津賀小学校も開いてほしい。</p> <p>高齢者が多く、足の悪い人も多いので避難所のトイレを洋式にしてほしい。</p> <p>車の運転ができない人、老人だけの人、足の悪い人などが多いので、どのようにして避難所まで行くかが問題。</p> <p>(地域だけの力では、なかなかカバーしきれないのが現状)</p>	<p>避難所の開設については、避難所を一様に開設するのではなく、災害の種別に応じて、最寄りの避難所への避難を勧告する等の運用もしていくよう検討します。</p> <p>避難所のトイレの洋式化については、施設管理課と協議し必要に応じて改修していくこととします。</p> <p>高齢者等の避難方法については、状況により町職員が避難誘導を行う場合もありますが、自治会や自主防災組織でも可能な限り高齢者等の避難支援を行っていただきたいと考えます。</p>
長坂一区	<p>災害時に、屋外で活動している人に伝達するため、防災放送（スピーカー）の整備を行ったらよいと考えます。</p> <p>現状の町内放送は、屋内のみでしか聞けないため、屋外にいる人は避難所へ逃げ遅れる可能性があります。</p>	<p>屋外用の防災スピーカーについてですが、実際の災害発生時、屋外では様々な要因に左右され、住民の方への放送が阻害されるケースが生じております。</p> <p>今後、屋外で活動している方へも確実に災害情報の伝達が行えるよう情報伝達手段の多様化に努めてまいります。</p>
舞地	<p>避難場所：納地公民館</p> <p>納地地区の避難所は納地公民館一か所のみです。その公民館も裏山が迫っているため、土砂崩れの危険性があると思います。室納地区/舞地地区の生活センターをサブ避難所として整備してもらいたい。</p>	<p>吉備中央町防災ハザードマップでもお示ししているとおおり、納地公民館は土砂災害警戒区域外となっておりますが、いつ、どこで災害が発生するかわかりません。そこで、ご意見にある地域の施設を避難所として利用していただくことも必要だと考えます。町の指定する避難所については、原則、町の所有する公共施設とすることとしております。地域の施設については自主避難所として運用していただきたいと考えており、地域の集会施設については、補助金等を活用し避難所としての機能も強化していただきたいと考えております。</p>
川西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館、小学校、中学校があるが建設の目的はそれぞれの目的。</li> <li>・避難所の指定は公共施設であるため、後付けで指定されている。(他地域についても同様では)</li> <li>・昨今のような時間雨量、100ミリ（時間雨量20ミリ以上。24時間、80ミリ以上が災害の基準では）を越すような雨が長時間降れば、避難所へ行くまでに災害にあう。また、避難した施設で災害にあう確率が高い。</li> <li>・下竹地区の公共施設は宇甘川、湯山川、吉川川の合流箇所でありとても避難場所</li> </ul>	<p>町指定の各避難所は避難所としての使用用途を考えて建設された施設ではありませんが、必要に応じて、避難所としての機能の強化及び防災資機材の配備に努めてまいります。災害発生時には、避難所を一様に開設することなく、災害の種別に応じた避難所開設を行えるよう運用していくこととします。</p> <p>避難開始の判断については、气象台からの情報や行政からの避難情報を参考に避難していただくか、自宅で待機した方が安全かを判断し行動してください。</p> <p>高齢者等の避難方法については、状況により町職員が避難誘導を行う場合もあり</p>

吉備中央町地域防災計画・国民保護計画の修正案に対する一般意見等募集結果

自治会名	意見 ※原文のとおり記載	意見に対する町の考え方
	<p>とはいえない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつの時点で、避難開始を決断するかが難しい。個人の判断か、行政の判断か。</li> <li>・一人暮らしの高齢者等は特に難しい。だれが、いつ判断し、どこへ移動させるのか。町職員の方々は町の地理的条件等十分に把握されたい。地理が把握できていなければ、緊急時の電話対応もできないと思える。</li> </ul>	<p>ますが、自治会や自主防災組織でも可能な限り高齢者等の避難を支援していただきたいと考えます。町職員の町内地理の把握については、今後の具体的な取組を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
茶屋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所までの距離が遠い</li> <li>・当自治会から避難する場合、どの避難所も橋を渡る必要があり、増水時は困難</li> </ul>	<p>町が指定する避難所までの距離が遠い地域は、複数あると考えております。町としては早期の情報提供を行うなど、避難行動時の安全を図るよう努めます。</p>
前組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所の耐震はどうなっているのでしょうか。</li> <li>・上竹荘公民館の北側の水路から大雨の時、敷地に流れ込むのではと心配です。</li> <li>・上竹地区で収容人員が一番大きなスポーツ公園体育館の障がい者用トイレの確保が必要だと思います。</li> </ul>	<p>避難所の耐震化については、全ての避難所が十分な耐震性を備えているわけではありません。災害の種別に応じた避難所開設を行えるよう運用していくこととします。</p> <p>水路については、内水氾濫の可能性を考慮し、担当課と相談検討いたします。</p> <p>障害者用トイレについては、教育委員会事務局と協議し必要に応じて配備していくことを検討いたします。</p>
円城	<p>指定避難場所の中には、その位置や地形から避難所に指定されている施設が、豪雨の際に浸水の被害にあった所もあり、災害の種類により適切に避難場所が指示されることが必要です。また、実際の災害時において避難所での避難者に対する支援は行政だけでは難しいと思われるので、避難所ごとに地域ボランティアや自治会等と日頃から、綿密な打ち合わせ、シミュレーションが大切と考えます。災害時に迅速に対応でき、町民が安心できる計画をお願いします。</p>	<p>災害発生時において、現在は、町内一律に避難所を開設していますが、場所によっては、河川の付近、また急傾斜地の付近にある施設を避難所として指定しているものもあります。ご意見のとおり、災害の種類に応じた避難情報の提供が必要であると考えますので、地域に応じた情報を伝達することのできる体制を構築することとします。ご意見を大いに参考とさせていただき、運用に活かしていきたいと考えます。</p>
岨谷地区	<p>お世話になります。意見としての的を射ていないかもしれませんが、災害の危険が切迫した時に一時的に避難する場所は各小部落で決められていると思いますが長期に渡って避難を余儀なくされる場合、施設として整備された場所が町内にどの位あるのか？</p> <p>地域間でもまだ災害に対する認識が薄く共有化されていない部分が多いように思われる。</p>	<p>災害発生時において、町の指定する避難所のほか、地域ごとに（例えば集会施設等）一時的に自主避難する場所を決められている地域もあると考えますが、避難生活が長期化した際、必要となる物資等は、原則、町の指定避難所へ配給することとなります。ご意見にあります「施設として整備された場所」ということですが、現在避難所として指定している施設は、寝食ができる設備があり、多数の方を収容できる施設を選定しています。これらの施設についてはバリアフリー、障害者用トイレの有無、スロープの有無は把握できていますので、計画内の避難所一覧へこれらの情報を加えます。長期の避難生活になる場合は、高齢者、妊婦、乳幼児等の避難者については、少しでも過ごしやすい避難場所へ移動することも考えられます。</p>

吉備中央町地域防災計画・国民保護計画の修正案に対する一般意見等募集結果

自治会名	意見 ※原文のとおり記載	意見に対する町の考え方
三納谷	<p>避難所に行く際、土砂崩れ、道路決壊等により車両等で行くことのできない状況である場合は、徒歩で避難を余儀なくされるときもあります。また一人になるときもあります。そのような時でも防災の立場から人命の安全を第一に自主的防災に備え、最低限必要な防災品（ポリ袋、マスク、手袋、給水パック、タオル、薬、ライター等）と非常用持ち出し品を考慮した肩に掛けて持ち運びに便利な防災グッズを1人1袋提供していただきたい。</p>	<p>災害時においては、まず「自分の命は自分で守る」自助が不可欠であることから各自の防災用品を準備していただくことは重要なことと考えます。自主防災訓練等の実施や、地域単位で防災資機材を購入する経費を補助する制度として吉備中央町自主防災組織補助金があります。この助成金等を活用していただき、防災用品を各世帯へ配備していくことも検討いただけます。</p>
総社区組織	<p>豊野公民館は河川が近くにあって避難所としては適切ではないのでは？</p>	<p>水害においては、同館は避難所として適していないと考えますので、災害の種別によっては避難所として開設しないことも視野に入れ、その他の避難所への早めの行動がとれるよう、避難情報を発令していくこととします。また、これらをふまえて地域内においても、早めの避難行動につながるよう平常時から訓練等していただくようお願いします。</p>
豊岡	<p>防災・避難所について                      豊岡地域は、平坦地が比較的少ない川と、山に囲まれ井原から小森までの細長い集落です。                      避難訓練時には避難所として指定された御北小学校、豊岡いきいきプラザへ避難しましたが、その後の大雨の時、道路が冠水する箇所、がけ崩れ、倒木し通行不能箇所などあり、地域によっては各集落の集会所へ避難するのが安全であるとの意見もあり、豊岡いきいきプラザ以外にも集会所を利用しました。                      本年度自治会では、地域が安全で快適に生活するための、地域の防災マップ・連絡網等集落ごとに相談しながら作成しようと計画しております。その節には、町のご指導よろしくをお願いします</p>	<p>貴地域は、以前から防災意識が高く、毎年防災訓練等を実施されていると認識しています。ご意見のとおり、災害の種別によっては、避難経路に危険箇所がある例が貴地域以外にも多数あります。町の指定する避難所は、原則、町の所有する公共施設とすることとしており、地域の施設については自主避難所として活用いただきたいと考えております。                      地域の集会施設については、その設備等を設置するための補助金等を活用し、避難所としての機能も強化していただきたいと考えます。また、いただいたご意見を参考に、災害発生初期においては、集会施設等を活用した避難所の運営も想定し、町と自治会等とで密に連携することを検討します。                      また、地域の防災マップ等の作成を行う際は、町といたしましても担当職員を出席させ、支援したいと考えております。</p>
吉備高原北部住区	<p>北部住区の避難場所として避難所一覧表では吉備高原小学校しかなく、近隣には北部住区コミュニティハウス、吉備プラザ、学園高校、きびの里等の施設があり使用することはできないでしょうか。                      また公民館自治組織が発足し、既存の吉備高原小学校会議室を使用しています。避難所として住区全員、収容出来る施設を建設したらどうかと思います。</p>	<p>吉備高原都市の中には避難所として利用可能な施設が少ないため、いただいたご意見、ご提案につきましては、今後の避難所の追加等を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
下市	<p>前区長によると、区会の時の話では、避難所について、公民館や小学校より公会堂の方が良いとの意見があったそうです。</p>	<p>町の指定する避難所は、原則、町の所有する公共施設とすることとしており、地域の施設については自主避難所として活用いただきたいと考えております。                      地域の集会施設については、その設備等を設置するための補助金等を活用し、避難所としての機能も強化していただきたいと考えます。また、いただいたご意見を参考に、災害発生初期においては、集会施設等を活用した避難所の運営も想定し、町と自治会等とで密に連携することを検討します。</p>

吉備中央町地域防災計画・国民保護計画の修正案に対する一般意見等募集結果

自治会名	意見 ※原文のとおり記載	意見に対する町の考え方
加茂市場	高齢者が多数のため避難所に直接行くのが困難なため集会所等に集まり行動をすることができないか。	町の指定する避難所は、原則、町の所有する公共施設とすることとしており、地域の施設については自主避難所として活用いただきたいと考えております。 地域の集会施設については、その設備等を設置するための補助金等を活用し、避難所としての機能も強化していただきたいと考えます。また、いただいたご意見を参考に、災害発生初期においては、集会施設等を活用した避難所の運営も想定し、町と自治会等とで密に連携することを検討します。
仁熊	仁熊区では万一の時避難しなければならない事態になった場合、加賀中学校に避難するよう申し合わせました。	貴地域の最寄りの避難所は、下竹荘公民館、下竹荘小学校、加賀中学校等としております。いずれの避難所を開設するかは、災害の種別や規模により町が判断しています。下竹荘公民館は、2つの川の合流地点であり大雨・洪水時等には、避難所に適していないと考えられます。そのため、一様に避難所を開設するのではなく、災害の種別、規模に合わせて開設することとします。しかし、町の対応を待つことなく、緊急に避難の必要が発生する場合もあるため、事前に地域で申し合わせしておくことは非常に大切なことだと考えます。
吉備高原東西住区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所が吉備高原小学校であることの住民への周知徹底（広報の徹底）</li> <li>・吉備高原小学校体育館内冷暖房設備の充実</li> <li>・岡山県総合教育センターを避難所に追加要望。吉備高原小学校と同等以上の設備であり、同小学校よりも近い。</li> <li>・きびプラザを避難所に追加要望。テント、備蓄など有効利用が期待できる。</li> </ul>	町においても避難所の場所を引き続き周知していくこととしています。地域においても周知していただきますようよろしくお願いいたします。平常時における地域の意思統一は重要なことであると考えます。 吉備高原小学校体育館内冷暖房設備の設置については、その他の避難所も含めて検討していくこととします。 また、岡山県総合教育センター、きびプラザ等は町所有の施設ではないものの、有事の際は避難所として活用できると考えますので、所有者である県等と協議を進めていくこととします。
上田東案田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次避難所 上田東（共栄公民館、湯武公民館、実方集会所） 案田（案田公会堂）</li> <li>・2次避難所 加茂川総合福祉センター</li> </ul>	町の指定する避難所は、原則、町の所有する公共施設とすることとしており、地域の施設については自主避難所として活用いただきたいと考えております。 地域の集会施設については、その自主避難所の設備等を設置するための補助金等を活用し、避難所としての機能も強化していただきたいと考えます。また、いただいたご意見を参考に、災害発生初期においては、集会施設等を活用した避難所の運営も想定し、町と自治会等とで密に連携することを検討します。
美原	<p>指定避難場所について</p> <p>① 一時的に難を逃れるために緊急に避難する避難先が全町的に明確にされている自治会、されていない自治会の実態を把握されていますか。 また、その場所がふさわしい緊急避難場所であるか点検されているのでしょうか。「町長の指定」が伴うための疑問。</p> <p>② 明確にされていない自治会への指導はどうなっているのでしょうか。</p> <p>③ 明確にされていない理由まで把握されているのでしょうか。「例 適切な施設がない。」場合もあるように思います。</p> <p>④ 指定避難場所は何を根拠に決められているか。</p>	<p>① 災害時に、町の指定する避難所以外で一時避難する場所を決めている自治会はあります。しかし、実態の把握はできておりません。今後必要に応じて実態把握に努めます。 町の指定避難場所については定期的に備蓄等の点検を行っております。</p> <p>② 自治会によっては、避難するよりも自宅へ待機した方が安全な場合も想定されることから、町から積極的に一時避難場所を明確にするための指導は行っていません。</p> <p>③ 明確にされていない理由を把握しておりません。ご意見の例にあるとおり、「適切な施設がない」場合もあると想定されますが、早期に行動し、町の指定避難場所</p>

吉備中央町地域防災計画・国民保護計画の修正案に対する一般意見等募集結果

自治会名	意見 ※原文のとおり記載	意見に対する町の考え方
	<p>⑤ 町長が指定するなら町が点検しているのか。</p>	<p>に避難していただくことを検討していただきたいと考えます。</p> <p>④ 町の指定する避難所は、原則、町の所有する公共施設とすることとしております。また、多くの人が収容でき、耐震基準を満たしているなどの災害に強い施設から選定しております。しかし、災害の種別や規模によって避難所として適さない場合もあると考えます。</p> <p>⑤ ①で回答したとおり、町の指定避難場所については定期的に備蓄等の点検を行っております。</p>
北	<p>北自治会の対応として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大和小学校、大和公民館、大和保育園等への避難については、ゲリラ豪雨などにより川の水が氾濫状態も予想され極めて困難と考えられる。</li> <li>・槇谷川で北地区も分断されているが、老人福祉センターふれあい荘においては比較的スムーズな移動が可能ではないだろうか。ヘリの対応及び施設内の状況等も安全であると考えられる。</li> <li>・小部落においては集会所を設けているところがほとんどではないか、その意味においてはまず身近な場所だと考えられる一時避難には最適だと思われる。</li> <li>・災害の危険が大きければ気持ちに余裕が持てず遠くに行くよりもまず近くではないでしょうか。</li> <li>・岡山は晴れの国で災害など対岸の火事だと思っていたはず、しかし真備の大災害で県民の意識にも変化が生まれたはずだ。日頃から災害に対するアンテナを高く持っていたい。</li> </ul>	<p>町の指定する避難所は、原則、町の所有する公共施設とすることとしており、災害の種別や規模によっては避難所として適さない場合も考えられます。</p> <p>ご意見にあるとおり、地域の施設については自主避難所として活用いただきたいと考えます。地域の集会施設については、その設備等を設置するための補助金等を活用し、避難所としての機能も強化していただきたいと考えます。また、いただいたご意見を参考に、災害発生初期においては、集会施設等を活用した避難所の運営も想定し、町と自治会等とで密に連携することを検討します。</p>